

利用者から寄せられたご意見（平成30年4月～7月）を掲載します。

公益財団法人かがわ健康福祉機構では、香川県社会福祉総合センターの管理・運営の参考とさせていただくために、センター利用者の方々に、アンケートやご意見等のご協力をお願いしております。

いただいたご意見のうち、利用者の皆様にご留意いただきたいものや、参考になると思われるものについては、今年度から、必要に応じて原文の趣旨を損なわない範囲で要約し、個人情報等を除いたうえで、機構からの回答と合わせて公表いたします。

今回は、平成30年4月から7月の間に寄せられたご意見の一部を紹介します。

利用者のご意見を、できるだけ今後の運営に活かしてまいりますので、これからも、貴重なご意見等をよろしくお願い致します。

1 エレベーターの到着時間について

(ご意見)

4階でエレベーターが中々来なくて、かなりの時間待たされた。上の階の利用者がエレベーターの「開」ボタンを長く押しているのが原因ではないか。

(回答)

エレベーターの到着が遅いということで、ご迷惑をおかけしました。

当センターでは、定員13名のエレベーターを3基設置し、ご利用いただいておりますが、高齢者や障害のある方の利用が多いことから、扉の開閉はやや遅めになっています。

また、センターの7階には、大会議室と中会議室が二つあります。ご指摘の時間は、ちょうど、7階の大会議室の研修会が終了した時間帯で、170人前後の方が参加していたこともあり、エレベーターをお待ちいただいたと思われまます。

このように、多くの方が参加する会議、研修会等の開始や終了の時間帯には、エレベーターの利用が集中してご迷惑をおかけしますが、その時間帯以外は、比較的、お待たせせずにご利用いただいておりますので、ご理解ください。

なお、当日の会議等の開催予定は、1階のエレベーター乗り場の横に掲示しておりますので、ご参考にしていただければと存じます。

縁結び支援センター入口への椅子の設置について

(ご意見)

縁結び支援センターの予約時間まで待つのに、センターの入口に椅子や雑誌などを置いて欲しい。

(回答)

縁結び支援センターは、結婚を希望する男女の出会いや結婚をサポートする場であり、利用者の方は、予約したうえで来所され、個別ブースで登録者の閲覧やお引合せの申込みなどを行っていただいています。

利用者の方が気軽にセンターを利用できるようにするには、出入りしやすい雰囲気や、出入りを妨げないような配慮が必要であると考えており、センターの性質上、利用していることを、あまり他の人に知られたくないというご意見もありましたので、入口に椅子等は置いておりません。

また、予約時間より早くはご案内できないことが多いので、なるべく予約に近い時間においでくださるよう周知してまいります。

3 災害やボランティア活動に関する情報の掲載について

(ご意見)

西日本豪雨で近県が困っているにも関わらずボランティア派遣がない。西日本豪雨情報もない。香川県が良ければ何事もない事なのか？間違っていると思う。

(回答)

香川県社会福祉総合センター内には、日本赤十字社香川県支部や香川県社会福祉協議会等が入居しております。これらの団体は、他県等で大規模な災害が発生した際は、県と連携して、様々な災害救護活動を行っています。平成30年7月豪雨災害についても、県やこれらの機関により、緊急消防援助隊や救護班の派遣、救援物資の提供、被災された方への県営住宅の提供、災害義援金の受付け、災害ボランティア活動に関する各種の情報提供や活動の助成等を行っています。

こうした災害救護活動の状況は、かがわ健康福祉機構のホームページとリンクする県や関係機関のホームページでご覧になることができます。

また、かがわ健康福祉機構が運営する「かがわ長寿大学」では、毎年、ボランティア活動に関する講義を行っています。今回の豪雨災害についても、受講生等からの義援金を取扱機関である日本赤十字社香川県支部にお渡ししたところであり、機構のホームページにも掲載しました。

今後とも、県や関係機関と連携しながら、各種の情報提供やボランティア活動の機運醸成を図ってまいります。